

作成日：2024年01月11日 第2.0版

## 肺癌における蛋白発現状況と治療による変動の評価に関する観察研究

### 1. 研究の対象

(1) 2014年から2023年の間に国立がん研究センター中央病院で肺癌と診断を受け、手術または生検により得られた腫瘍検体が保管され残存している患者さん。(2)術後再発時に生検を受けている、あるいは、生検にて診断し病勢増悪時に再生検を行っている患者さん。(1)かつ(2)を満たす患者さんを対象としています。

### 2. 研究目的・方法

目的：肺癌の蛋白発現の変化を明らかにすることです。

方法：研究対象者の残余検体で免疫染色を行い、蛋白発現の変動を評価するとともに、治療の影響や予後との関連を検討します。

研究実施期間：研究許可日～2028年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、Performance Status (PS)、遺伝子異常、病期、合併症、治療歴など

試料：残余検体（ホルマリン固定パラフィン包埋組織・セルブロック標本）

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

堀之内 秀仁

国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL：03-3542-2511 FAX：03-3545-3567